



10 **FACTS** **ABOUT**
FLUORIDE

フッ素について **10** の真実

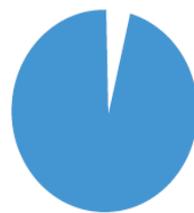
<http://www.fluoridealert.org/uploads/10facts.pdf>

真実 1

殆どの先進国は水道水に フッ素添加はしていない

アメリカ合衆国では健康の権威たちが、「フッ素の水道水への添加は 20 世紀の公衆衛生の 10 の偉業のうちの一つだ。」と言っています。その他の国々はこの見解を支持していません。実際にアメリカで意図的に添加されているフッ素水を飲んでいる人の数は、それ以外の世界中のフッ素水を飲んでいる人の数よりも多いのです。殆どの先進国では水道水へのフッ素添加は実施していません。西ヨーロッパの97%の人は一滴のフッ素の添加もされていない水を飲んでいます。フッ素の擁護者はヨーロッパでは塩にフッ素が添加されていると、時に主張するかもしれませんが。でも西ヨーロッパで塩にフッ素が添加されているのは、ほんの 5 カ国だけなのです。殆どの国ではそんな事は実施されていません。

WESTERN EUROPE



97%

DO NOT DRINK
FLUORIDATED WATER

知っていますか？

アメリカで意図的に添加されているフッ素水を飲んでいる人の人口は、それ以外の世界中のフッ素水を飲んでいる人口よりも多いのです。

過去 60 年に渡ってアメリカの虫歯が大幅に減少した主な理由は、水道水へのフッ素添加だとよく言われてきました。しかしながら、フッ素を今まで水道水に添加したことが無い殆どの先進国でも同じ様に虫歯が減少しました。今日 WHO(世界保健機構)のデータによれば、フッ素添加している少数の先進国と添加していない大部分の先進国とで虫歯の罹患率に明確な違いは認められないという事です。

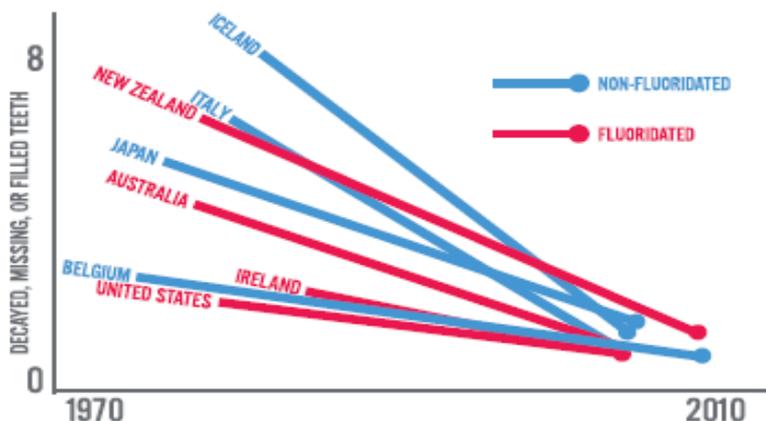
真実 2

フッ素添加している国の

虫歯罹患率は

していない国より

低くない



SOURCE: WORLD HEALTH ORGANIZATION (2013)

フッ素は歯以外の多くの 組織に影響が有ります

知っていますか？

- ・フッ素は脳の機能を阻害することが明らかです。
- ・中国でなされた研究で、フッ素は知能を低下させる可能性がある事明らかになりました。
- ・フッ素は内分泌のかく乱物質です。
- ・幾つかの研究でフッ素被爆は甲状腺の機能に影響することが示されています。
- ・大量のフッ素に被爆することで、ある重度のタイプの糖尿病が増加することが明らかにされています。
- ・不妊とフッ素の関係については更なる研究が必要です。
- ・胆嚢がんの危険性に対するフッ素の影響の可能性について更なる研究が必要です。
- ・フッ素はアルツハイマー病を引き起こす危険性を増加させるかもしれない。これは非常に受け入れ難い可能性です。

情報源：ナショナル・リサーチ・カウンシル(2006)、EPAのフッ素飲料水の科学的評価基準、ワシントン・DCのナショナル・アカデミー・プレス

フッ素の擁護者はフッ素の水道水添加の安全性は科学的に決着がついている事だと長いあいだ主張してきました。しかしながら、ナショナル・アカデミー・オブ・サイエンス(NAS)のフッ素の評価委員会の議長を務める著名な毒物学者のジョーン・ドール博士は、「フッ素の安全性はまだ決着がついておらず、長期的にどのような影響が出てくるかについて考慮するのに必要なデータをまだ十分得ていない。」と、言っています。2006年にドール博士のNASの委員会は徹底的なフッ素の毒性評価に関する500ページ及び資料を出版しました。その報告は、フッ素は内分泌かく乱物質で、松果体、甲状腺、脳、骨等の身体の多くの部位に影響を及ぼし血糖値にまで影響があることを結論づけました。

健康的でクリーンなフッ素法案のイメージとかけ離れ、NASは科学的な調査に基づいて、最近のアメリカのフッ素被爆は特にフッ素に対して無防備な人々に影響し、糖尿病、認知症、知能の低下、甲状腺疾患、骨疾患等の慢性の健康問題に関連しているかもしれないと警告しました。これらの勧告で重要な点は60年間に及ぶフッ素の水道添加に関らず、プログラムの安全性を決定するために多くの基礎的な研究がなされたという事です。

フッ素の擁護者はよく「フッ素は元々天然由来のもの」だと言います。つまり、水道水にもある程度天然由来の高濃度フッ素が元々入っているというのです。しかしながら、ヒ素やその他の薬物やリチウムなどの多くの毒性物質はそもそも天然に高濃度では存在しませんし、これが安全であるという意味では無いのです。更に、人工的なフッ素添加のプログラムで添加されるフッ素のレベルは多くの汚染されていない新鮮な水源から検出されるフッ素のレベルよりもはるかに高いです。

主に水道水の添加に使われるフッ素の化学物質(フルオロ珪酸)はほとんどの人に天然由来の物質であると認識されて居ません。

フッ素添加 は不自然な プロセス

それは腐食性の酸でリン酸肥料の工場の大気汚染を防止する装置の中に貯められているのです。フッ素のガスは重大な環境汚染の原因になってとても危険なので、フッ素は大気汚染を防止する装置の中に集められます。この様に集められ非常に汚染された化学物質であるフッ化物の酸が水道水に添加され、フッ素による更なる環境汚染の原因にもなっているのです。それらの危険性には、ヒ素の含有率を上げ、酸の毒性による発がんや神経毒の危険性も含まれますし、古い鉛のパイプを腐食させる可能性も有ります。



知っていますか？

フッ素の化学物質（フルオロ珪酸）は大気汚染を防止する装置の中に集められた腐食した酸でそれが水道水に添加されています。

真実 5

40%以上のアメリカの10代の子供 にフッ素過剰摂取の症状が見られます

最近のアメリカ疾病予防管理センター(CDC)によれば、約40%のアメリカの10代の子供で歯牙フッ素症と呼ばれる状態が観察されています。フッ素は歯を形成する細胞の阻害をして歯のエナメル質の表面を欠損させます。ホワイトスポット、縞模様の筋が入ったり、もっと重篤なケースでは褐色のステインや歯の腐食を起こします。1950年代に当局は、フッ素に汚染されている地域のほんの10%の子供達に歯牙フッ素症が見られるだけだと主張しました。しかしこの主張は嘘であることが証明されました。今日アメリカの40%の10代の子供が歯牙フッ素症に罹っているばかりでなく、フッ素に汚染されている地域では、70~80%の高い率で重篤な歯牙フッ素症に子供たちが苦しんでいるのです。

実際に多くの専門家が、子供たちがフッ素添加の歯磨き粉を使用するだけで、一日のフッ素摂取の許容量以上を飲み込んでしまう可能性がある事を認めています。

ステファン・レヴィー博士
歯科公衆衛生ジャーナル(1999)

アメリカで子供たちが高い率で歯牙フッ素症に悩まされている背景には水道水以外にもフッ素を摂取しているという背景が有ります。水道水へのフッ素添加が最初に始まった時には、同時に歯磨き粉にもフッ素を添加しました。今日95%以上の歯磨き粉にフッ素が添加されています。歯磨き粉のラベルには毒性の有ると書いてありますが、研究では特に歯磨き粉の風味付けに風船ガムやキャンディーの味付けをした時に、子供たちは沢山の量のフッ素を飲み込んでしまうことが、分かっています。

そして、加工食品や飲料、フッ素系の殺虫剤、お茶、テフロン加工のフライパン、フッ化物が入った薬剤などその他のフッ素の摂取源があります。それで、今日の懸念は水道水へのフッ素添加への安全性に留まらず、その他全てのフッ素の被曝源に対する総合的な安全性に対する問題なのです。



歯牙フッ素症 提供 ハーディ・ライムパッグ博士

知っていますか？

36の研究がフッ素と低IQの間に相関関係が有ることを発見しています。

真実
6

乳児へのフッ素塗布のメリットはゼロ リスクが有るのみ！



1990年代までは健康の専門家たちは、新生児にフッ素を与えるようにアドバイスしていました。しかしこれはもう過去の話です。今日、医学機関は一日に10 μ gの微量のフッ素の摂取が乳児の許容量であると推奨しています。これは母乳育児されている乳児がフッ素は実際には殆ど含まれていない母乳から摂取するのと同じ量です。

フッ素添加された水道水で作られたミルクを飲む乳幼児は700~1200 μ gのフッ素を摂取する事になり、それは推奨されている摂取規定量の100倍以上になります。アメリカ疾病予防管理センター(CDC)によれば、乳児期の早い時期に高濃度にフッ素に被曝しても歯に良い影響はないそうです。しかしながら、高濃度の被曝は有害な影響が有る可能性が有ります。

最近の研究では、フッ素添加された水道水で作られたミルクで育てられた子供はかなり高い確率で歯牙フッ素症になる事が分かっています。それで最近ではかなり多くの高名な歯科の研究者たちが、乳児用のミルクはフッ素添加した水道水で作るべきではないと助言しています。

そして懸念は歯牙に対する影響に留まりません。2012年の7月、ハーバード大学の研究者たちは脳の発達にフッ素の毒性が影響する可能性がある事を警告しました。ハーバード大学の研究チームがごく低年齢の時期にフッ素の被曝を沢山受けた子供たちは、IQのスコアが低かったという中国でなされた大規模な疫学調査の結果に基づいて警告したのです。ハーバード大学のチームが評価をした12の論文で、アメリカで全く安全だと思われているフッ素濃度のレベルでIQの低下が見られ、更にユニセフが資金を提供する研究で、ヨウ素の欠乏症の子供たちの間では、いわゆる至適フッ素濃度のレベルでIQの低下が見られたことを発見しました。フッ素添加水道水がIQを低下させる可能性があるというのは間違いなく重大な懸念事項です。

真実 7

フッ素のサプリメントは FDA による認可を 受けていない



フッ素のサプリメントはフッ素添加の水道水を飲用した時に摂取するのと、同処方量のフッ素で子供用に作られたものです。しかしながら他の栄養補助食品と違い、食料品店でフッ素のサプリメントを気軽に購入することは出来ません。フッ素は毒物なので、医師から処方箋を出してもらわないとフッ素のサプリメントは購入することが出来ないのです。連邦法では処方薬はその効果と安全性について FDA(米食品医薬品局)に認可を受ける必要が有りますが、FDA はフッ素のサプリメントを虫歯の予防に有効性があるという認可はしていません。実際 FDA はフッ素のサプリメントを審査し認可の拒否をしました。つまり水道水に添加されているフッ素は本来は処方箋投与されるべき強い薬ですが、それ自体 FDA に認可さえ、されていないのです。

真実 8

フッ素は水道水に添加されている 唯一の薬

フッ素は実際には水の処理過程で使われることなく単に添加されている唯一の化学物質です。例えば塩素は殺菌の為に加えられますが、そのおかげで我々は病気になることなく水を飲む事が出来ます。フッ素はそれに対して水を飲む事が原因ではない虫歯を予防するという名目で加えられます。

フッ素の擁護者は水道水へのフッ素添加は、塩にヨウ素が添加されたり、牛乳にビタミンDが添加されているのと同じなので、薬物治療では無いと主張します。しかしながらこの主張では、ビタミンDとヨウ素は両方とも身体にとって必須の栄養素ですが、フッ素はそうではないと言う所が矛盾しています。

必須栄養素は生理的に身体が必要とするものです。



水道水に添加されている
フッ素は処方箋薬です。

例えばもし我々の身体に十分なヨウ素が無かったとしたら、甲状腺は正しく機能しないでしょう。フッ素の擁護者は時にフッ素は必須栄養素だと主張しますが、米国化学アカデミーはそうではない事を繰り返し勧告しています。なぜなら、フッ素は栄養素ではなく、FDAはフッ素は疾患の予防に使われる薬である事を定義しています。虫歯が病気であるならば、虫歯予防の為に水道水にフッ素添加する事は、理論的には薬物療法と言う事になります。

これは殆どのヨーロッパ諸国で水道水へのフッ素添加を拒否している理由の一つです。なぜならこの観点から言えば、水道水に薬を添加するのは不適切な方法だからです。その他の薬物に関しては、医師ではなく患者サイドが薬を選択する権利が有るのです。水道水へのフッ素添加は人々のこの権利を奪っています。

フッ素添加は薬理学の原理に違

反し、時代に遅れています

アービッド・カールソン博士
ノーベル医学/生理学賞受賞者

真実 9

フッ素を飲み込んでも

歯牙には殆ど

効果はない

水道水へのフッ素添加が最初に始められたのは 1940 年代にさかのぼります。医学の専門家たちは、虫歯予防に最も効果を出す為には、フッ素を飲み込んで摂取する必要があると信じていました。それでフッ素は水道水に添加され人々に飲まれる様になったのです。

しかしながら今日フッ素の主な有用性は実際は摂取する事でなく、歯牙の表面に塗布する事だと、広く認識されています。これについては現在米国疾病予防センターでさえも認めています。つまり、フッ素は薬として水道水に添加されているというだけでなく、実際は飲み込む必要性もない薬にも関わらず添加されているのです。



フッ素による危険性が最も高い地域は？ フッ素の危険性の地域格差

知っていますか？

米国では低所得者の患者さんの治療を治療する歯科医師が不足しているのが深刻な問題となっています。しかしながらこの問題は、低所得者層の住民に、危険な化学物質であるフッ素を強制的に摂取させる理由として使われています。

人々がフッ素の毒性に対して無防備になればなるほど、低所得者層のコミュニティでは、裕福なコミュニティに比較して、ますますフッ素が広く使われるようになります。(それがたとえば 栄養失調、乳児のミルクからフッ素摂取、腎臓病、糖尿病の様な問題を引き起こすのです。)これは、アフリカ系アメリカ人やメキシコ系アメリカ人の子供が高い確率で歯牙フッ素症に悩まされている事の最たる理由なのです。これらの不均衡なフッ素の危険性について反対し中止を求める、著名なリーダー達が率いる市民活動が行われています。アンドリュー・ヤングは国内のヒスパニックの最大級の市民権組織のリーダーです。

貧困層の地域の水道水へのフッ素添加は高い確率で虫歯を予防できると主張されてきましたが、過去30年以上に渡って水道水へのフッ素添加が実施されてきたほとんどの貧困都市のコミュニティでは未だに重度の口腔内の疾患の危険性に悩まされています。水道水へのフッ素添加が実施されてきたシンシナティで、ある歯科医は貧困層の子供たちの口腔内の状況は「心が痛むような状態ですし、フッ素に効果がないことを如実に表している」と、言いました。



参考文献は原文の巻末をご覧ください

<http://www.fluoridealert.org/uploads/10facts.pdf>

- ・水道水へのフッ素添加を実施しているデトロイトでは、黒人の 5 歳児の虫歯の罹患率が91%で、そのうちの42%が重度の虫歯に罹患しています。

- ・水道水へのフッ素添加を実施しているニューヨークでは未就学児の内34%の低所得層の家庭の黒人の子供達が平均6.4本のランパントカリエスになっています。

- ・サンアントニオでは年の統計で市の子供たちの高い虫歯の罹患率を減らすことが出来なかった事が明らかになりました。8年間に及ぶ水道水へのフッ素添加で、虫歯の罹患率は減少するどころか上昇しました。

- ・米国疾病予防センターにより行われた国内の調査で、国内で最も水道水へのフッ素添加が実施されているケンタッキー州では歯の喪失率は44%で、一方水道水へのフッ素添加の普及が最も少ないハワイ州での歯牙喪失率は16%でした。

水道水へのフッ素添加を実施している都市部では未治療の虫歯が原因で何人かの死亡者が出ています。メリーランドプリンス・ジョージでは12歳の子供が、シンシナティでは24歳の父親が死亡しています。

また「人々は事態が如何に深刻かを知ると非常にショックを受けるでしょう」とも付け加えました。多くの他の都市でも同じ様な運命をたどっています。

貧困層の住民に必要なのは歯科治療であって、水道水への化学物質のフッ素添加ではないことは明らかです。毎年何百万ドルという予算が水道水へのフッ素添加を推進するために使われて来ましたが、歯科医に掛かるのが困難な人々にも、歯科治療を受けられるようにする等、実際の歯科治療を提供する政策に予算を使う方が有用でしょう。短期的にはフッ素の水道水への添加は歯科販売組合の良いPRになるでしょうが、結局はこの悪い薬に関わっているというイメージが出来てしまうでしょう。